



ポリクリック
シリーズ

超硬ステップドリル

取扱説明書

《特長》

- ◎超硬刃先でステンレス等被削材への穴あけが可能です。
- ◎1本で5サイズの穴あけが可能です。
- ◎パーツ交換でき大変経済的です。
- ◎刃先はワンタッチで交換できます。

《用途》

- ◎厚さ3.5mmまでの鋼板、ステンレス板、銅板、アルミ板などへの穴あけに。
- ◎既存の穴への拡張作業に。

警告

- 1) 無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をして下さい。
- 2) 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにして下さい。
- 3) 目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用して下さい。
- 4) 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意して下さい。
- 5) カッターの着脱時は、ストッパーでカッターが押し出されませんので飛び出し、落下・破損に注意して下さい。高所作業では特に注意してください。(カッターとシャンクの着脱方法を良くお読み下さい。)
- 6) 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用して下さい。但しカッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないで下さい。
- 7) カッター、及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルだけでや火傷をしないように、注意して下さい。
- 8) カッター着脱時ストッパーはバネ力で強く押し出されますので、シャンクとストッパーの隙間に手や指を挟まれないように注意して下さい。(カッターとシャンクの着脱方法を良くお読み下さい。)

- 9) カッターとシャンクの着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行って下さい。
- 10) ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された後、ご使用下さい。
- 11) その他の注意点につきましては総合カタログ「安全上のご注意」の項をご確認下さい。

注意

- 1) 電動工具は必ず**回転モード**で使用して下さい。
- 2) 穴あけ途中は、絶対に回転を止めないで下さい。(刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります) 回転を止める場合は、カッターを被削材から引き抜いた後で止めて下さい。
- 3) カッターは変形しないように注意して取り扱って下さい。また変形したカッターは使用しないで下さい。
- 4) カッターをシャンクに装着する場合は、挿入部に切粉が付いていない状態で作業して下さい。
- 5) 拡張作業時は、下穴に合った刃先径の段をガイドにして使用して下さい。(隙間がある場合、刃先の破損の原因となります。)
- 6) 連続して穴あけを行う場合は、1穴毎にカッター内の切削片を取り除いて下さい。
- 7) 穿孔時は、切削油を使用されると切削性が良くなります。
- 8) リング状の切屑がカッターに残った場合は、ニッパーやラジオペンチを使用して怪我をしないように取り除いて下さい。

《仕様》

カッター	刃先 (mm)	刃先品番	カッター径 (mm)	カッター品番	適合するシャンク	センタードリル (品番)
No.1	21	PCSB21	25、27、30、33	PCS1C	S	PCSCDS
No.2	16	PCSB16	18、22、25、28	PCS2C		
No.3	22	PCSB22	25、28、30、34	PCS3C		
No.4	25	PCSB25	28、32、35、38	PCS4C		

※穿孔可能な最大板厚は3.5mmです。

※超硬ステップドリルはポリクリックSシャンクのみの仕様となりますが、シャンクは他品種のカッターを取り付けて使用できます。

《シャンク》

ポリクリックシャンクSには、下表の種類があります。

用途・使用する電動工具に合わせてご使用下さい。

品名	品番	仕様
Sシャンク	PCSKS	10mmストレートシャンク
Sシャンク SDSプラス	PCSKSR	SDSプラスシャンク(軽量ハンマードリル用)
Sシャンク 200L	PCSKS200	10mmストレートロングシャンク
Sシャンク SDSプラス 200L	PCSKSR200	SDSプラスロングシャンク

※Sシャンク充電(品番:PCSKSD)は、超硬ステップドリルには使用できません。

《使用条件》

〈適正回転速度の目安〉

材質	鉄	ステンレス
回転速度 (min ⁻¹)	700前後	500前後

注意：上記は弊社標準条件においての目安です。

材質、被削材の固定方法等により適正回転速度は異なります。



ユーザーと共に

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓口

☎0120-81-3875

〒673-0443

兵庫県三木市別所町B19番地

商品お問い合わせ窓口

☎0120-3875-14

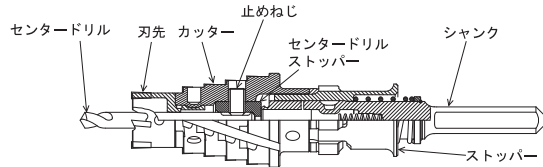
URL

<http://www.miyana.co.jp>

FAX

☎0120-3875-17

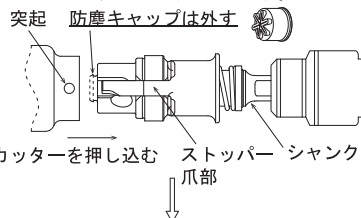
《構成図》



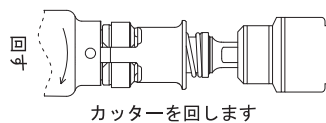
《カッターとシャンクの着脱方法》

◎取り付け方法◎

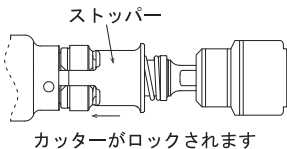
- 1) シャンクを電動工具に取り付け、シャンクのストッパー爪部とカッターの突起部を合わせカッターをシャンクに押し込みます。



- 2) カッターをシャンク端面まで押し込んだ状態でカッターを右に少し回します。(シャンクは固定させた状態)



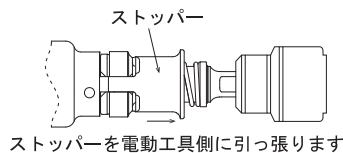
- 3) シャンク側のストッパーがバネの力によりカッター側に押し出され、カッターがロックされます。



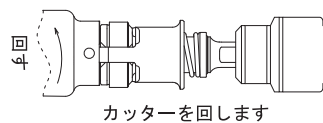
※バネ力によりストッパーが押し出されますので、ストッパー付近に手を添えないで下さい。指が挟まれる危険性があります。

◎取り外し方法◎

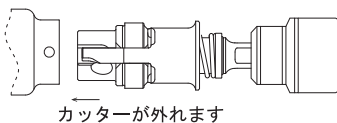
- 1) シャンクを電動工具に取り付けた状態で、ストッパーを電動工具側に引っ張ります。



- 2) ストッパーを電動工具側に引っ張った状態でカッターを左に少し回します。(シャンクは固定した状態で)



- 3) ストッパーを手で引っ張っている力を少し緩めて下さい。カッターが押し出されます。(急激に手を離すとカッターが飛び出し危険ですので注意して下さい)



※カッターの取り外しは、ストッパーでカッターが押し出されますので、飛び出し、落下・破損に注意して下さい。高所作業では特に注意して下さい。

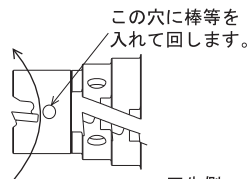
《使用方法》

- 1) 《使用条件》の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具を使用して下さい。
- 2) シャンクを電動工具に取り付けます。
※取り付け方は電動工具の取扱説明書をご覧ください。
- 3) カッターのシャンクへの取り付けは、左項の《カッターとシャンクの着脱方法》を参考にして取り付けて下さい。
※超硬ステップドリルを取り付ける場合は「防塵キャップ」を外さないとカッターが装着出来ません。
- 4) 穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけて下さい。(センタードリル貫通後にカッターが穴あけ対象物に衝突して破損しないように注意して下さい。)
- 5) カッターが穴あけ対象物に接した後、切削が安定するまで2~3秒程度ゆっくりと切り込んで下さい。
- 6) 穴あけ中は回転が落ちないようにゆっくりと真っ直ぐに切り込んで下さい。
金属板貫通前は、穴あけ姿勢によりカッターが金属板に引っ掛かり、振られる恐れがありますので電動工具をしっかりと保持して下さい。
※2段目の切削刃の刃先を強く被削材に当てないで下さい。切削刃の刃先の破損原因となります。
- 7) 2段目以降を必要な径の段まで穴あけを行います。
※各段の貫通時には次の段の切削刃の刃先を強く穴あけ対象物に当てないで下さい。切削刃の刃先の破損原因となります。
- 8) 穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いて下さい。

《刃先交換方法》※センタードリルは取り付けたままで交換可能です。刃先の摩耗・破損により使用出来なくなった時は次の手順で交換します。※刃先を取り付けせずに、穿孔を行うことはできません。

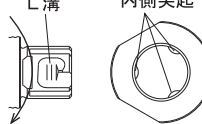
《取り外し方》

- 1) カッターを固定した状態で刃先を右図の様に回転させます。
- 2) 回転が止まった位置で刃先をカッターから引き抜いて下さい。



《取り付け方》

- 1) カッターの刃先挿入部の切粉やゴミを取り除いて下さい。
- 2) 刃先のL溝部をカッターの内側突起部分に合わせて挿入し右図の様に回転させます。
- 3) 途中のクリックを超え、刃先がロックされたら交換完了です。



《センタードリル交換方法》

センタードリルの磨耗・破損により使用出来なくなった時は、次の手順で交換します。

- 1) カッターのセンタードリル止めねじを緩め、使用出来なくなったセンタードリルを抜き取ります。
※止めねじを外してしまうと、センタードリルストッパーが外れますので外してしまわないで下さい。
- 2) 新品のセンタードリルのねじ止め部分を、止めねじの部分に合わせて挿入します。
- 3) 六角レンチで、止めねじを締め付けて下さい。

